

## 富山市総合計画審議会第1回活力部会 概要

場所：富山市役所議会棟8階 第3委員会室

日時：平成23年9月27日（火）

10:00～12:10

### 1 開会

### 2 部会長あいさつ

・長期的・広域的視点に立って、市民が明るい未来を展望できるような総合計画後期基本計画の策定に向け、議論を尽くしていかなければならない。忌憚のない意見をお願いしたい。

### 3 部会長職務代理者の指名について

### 4 富山市の主要事業の紹介（「富山市民感謝と誓いのつどい」DVD）

### 5 議事

・富山市総合計画後期基本計画（案）等について

<概要>

（部会長） まず、配付された資料について説明をお願いしたい。

（事務局） 資料について説明

（部会長） ただ今の説明も踏まえて、早速議論に入りたい。

（委員） 農業分野に限らず、高齢化などによって、国内産業や地域が空洞化している状況に加えて、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）などのグローバル化の波によって、富山市の観光業、製造業にどのような影響を与えているのか。富山市の中小零細企業への影響はどうなっているのか。

市町村合併後、各地域の「企画力」が低下している。大沢野・八尾といった各地域において、農業を考え、地域の農地を守っていくことを考える組織（運営主体）を作るべきではないか。

米作偏重の本市農業の中で、「農商工連携」「六次産業化」が求められているが、「食」を入れ込むことが重要であり、そこに力点をおいた人材育成が必要である。

また、コンパクトシティによって、まちなかへの誘導を図っているが、中山間地域では長期的には莫大なコストがかかるため、しっかりと取り組む必要がある。

農業に限らず、地域全体の連携で「地域力」をつける必要がある。中山

間地域がしっかりしないといけない。そのベースとなるのは「コミュニティ」づくりであり、そこにもっと力を入れる必要がある。

加えて、他都市との連携の中で、農業の振興を推進できるのではないかな。

(事務局) 若者の就職状況について、大企業及び、製造業よりもサービス業を希望する傾向がある。製造業については、技術の伝承が課題となっているが、県内の工業高校の卒業生はレベルが高いと評判がよい。円高による中小企業の海外移転は全国的な流れである。

本市においては、東日本大震災等を受け、リスク分散の観点から企業団地への引き合いが多くなっている。市内企業の海外移転はあまり見られない。

観光業について、熟年層の観光客が多くなっている。立山山麓への観光客も増加している。

(委員) 富山まつりは盛況だと聞いているが、チンドンコンクールは近年減少傾向であり、若者にとってはあまり魅力がないのではないかな。魅力あるイベントにシフトしていくべきではないかな。アンケート調査を行い、新しいまつりなどを検討すべきである。

(委員) 外国の観光客に対して、県と市の役割分担を踏まえ、情報発信を積極的に行うべきである。例えば、富山駅にきた観光客等は、富山市がどのような所なのかかわからないのではないかな。

また、観光分野について、金沢などの他都市との連携による広域観光の推進が必要ではないかな。

ブランド化について、市場に出回りすぎると希少価値がなくなることが難しい点である。

(委員) 「富山市美術展と神通峡美術展について、統合を含め今後のあり方を検討し」とは具体的にどういうことかな。

芸術の発表の場として、市民プラザを活用する方法はないのかな。

(事務局) 美術展は統合ありきではなく、今後、あり方の検討を行っていく。また、市民プラザの活用については検討したい。

(委員) 前期基本計画の総括は行っているのかな。かなりの事業費が投入されるが財政状況の中で可能なのかな。

(事務局) 総合計画では10年間の基本構想を定めており、その構想に基づき前期と後期の基本計画がある。前期基本計画を策定してから5年が経過しており、その間に社会経済情勢が大きく変動しているため、それを踏まえて後期基本計画を策定したい。

前期基本計画は平成23年度までであり、毎年見直しを行っている。例え

ば、小中学校の耐震化や保育所の改築等については、予算や代替地の確保の観点から一部遅れているものもあり、これについては、後期基本計画で順次実施したいと考えている。

(委員) 富山市の事業所開業率2.5%は大変厳しい。新産業支援センターの実績を教えてください。新産業支援センターの有効活用も含めて新しい産業・事業が次々出てくるような環境整備を行う必要があるのではないかと。

観光について、これまでの旧所名跡を回るものではなく、質の高い時間を過ごすという新しい観光を目指すべきではないかと。

(委員) 中心市街地について、騒音などの問題点が今後予想されるため、居住エリアとイベントエリアを区別するべきではないかと。

(委員) 地域高規格道路富山高山連絡道路の整備を進めることで、高山からの誘客を図るべきである。

(事務局) 農業分野について、TPPは注意深く見ていく必要がある。今後の農業、農村の支援のあり方については、意欲がある地域に積極的に支援していきたい。また、六次産業化を推進するためには、消費者側の視点に立ってマネジメントすることができる人材の育成が必要である。

コンパクトシティを進めるとともに、中山間地域でも、過疎対策をしっかり行っていきたい。

(部会長) 総合計画の策定においては、改善点ばかりではなく、富山市の良さを強化し、PRしていくことが魅力づくりにつながる。富山市の魅力をさらに強化・充実させる取り組みが必要ではないかと。

(部会長) 本日の意見を踏まえて、次回の議論につなげていきたい。

## 6 閉会

(以上)